

病床機能報告用マスター
ファイル仕様説明書

令和2年4月

厚生労働省 医政局

－ 目 次 －

1	マスターファイル名	1
2	マスターファイルの形式	1
3	マスターファイルのレコード情報表記仕様	1
参 考	病床機能報告用マスターファイルの仕様イメージ	6

1 マスターファイル名

「k.c s v」とします。

2 マスターファイルの形式

- (1) 項目間の区切り文字は「,」（カンマ）とします。
- (2) 各項目の値は、モード（「数字」、「英数」及び「漢字」）に関わらず、引用符「”」（ダブルクォーテーション）を前後に付します。
- (3) 最大バイトは引用符「”」を除いたバイト数となります。
なお、小数部の値は、小数点及び小数以降の数字を含みます。
- (4) 0バイトの文字列（Null）の場合は、引用符「”」を続けて記録します。

3 マスターファイルのレコード情報表記仕様

病床機能報告用マスターは、レセプト電算処理システムマスターファイル仕様説明書の「(7) 医科診療行為マスター」に係るレコード情報表記仕様に準じ、次のとおりとします。

なお、レコード情報表記仕様の詳細な取扱いは、レセプト電算処理システムマスターファイル仕様説明書を併せて参照願います。

病床機能報告用マスター

項番	項目名	形式			内 容
		モード	最大 バイト	項目 形式	
1	変更区分	数字	1	固定	レコードの異動状況を表す。 0：前マスターの内容と同じであることを表す。 1：抹消 3：新規 5：変更 9：廃止
2	マスター種別	英数	1	固定	医科診療行為マスターの「マスター種別」に準じ、「S」を設定する。
3	診療行為コード	数字	9	固定	
	区分 番号		(1) (8)		医科診療行為マスターに準じ、「1」を設定する。 頭2桁目から5桁目は、次により病棟を識別し、6桁目から9桁目は、重複しない番号を設定する。 19061****：高度急性期機能病棟 19062****：急性期機能病棟 19063****：回復期機能病棟 19064****：慢性期機能病棟
4	診療行為省略名称				出力紙レセプト等に出力する名称（省略名称）を設定する。
	省略漢字有効桁数	数字	2	可変	項番5「省略漢字名称」の文字数を表す。
	省略漢字名称	漢字	64	可変	漢字：32文字
	省略カナ有効桁数	数字	2	可変	項番7「省略カナ名称」の文字数を表す。
7	省略カナ名称	英数カナ	20	可変	半角カナ：20文字 項番5「省略漢字名称」のカナ名称を表す。 なお、20文字を超える「省略カナ名称」は、「ビョウ」を除いたカナ名称を設定している。

項番	項目名	形式			内容
		モード	最大 バイト	項目 形式	
8	データ規格コード	数字	3	可変	未使用：「0」を設定する。
9	データ規格名				
	漢字有効桁数	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
10	漢字名称	漢字	12	可変	未使用：省略
	新又は現点数				
11	点数識別	数字	1	固定	「3：点数（プラス）」を設定する。
12	新又は現点数	数字	10	可変	「0.00」を設定する。
13	入外適用区分	数字	1	固定	「0」を設定し、入院レセプト及び入院外レセプトの双方に記録可能とする。
14	後期高齢者医療適用区分	数字	1	固定	「0」を設定し、医療保険及び後期高齢者医療の双方に記録可能とする。
15	点数欄集計先識別（入院外）	数字	3	可変	未使用：「0」を設定する。
16	包括対象検査	数字	2	可変	未使用：「0」を設定する。
17	予備	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
18	DPC適用区分	数字	1	固定	「1」を設定し、診断群分類（DPC）点数表によるレセプトの出来高部分に記録可能とする。
19	病院・診療所区分	数字	1	固定	「0」を設定し、病院及び診療所の双方に記録可能とする。
20	画像等手術支援加算	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
21	医療観察法対象区分	数字	1	固定	「3」を設定し、医療保険及び医療観察法において入院及び入院外（通院）レセプトの出来高部分に記録可能とする。
22	看護加算	数字	2	可変	未使用：「0」を設定する。
23	麻酔識別区分	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
24	予備	数字	3	可変	未使用：「0」を設定する。
25	傷病名関連区分	数字	2	可変	未使用：「0」を設定する。
26	予備	数字	2	可変	未使用：「0」を設定する。
27	実日数	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
28	日数・回数	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
29	医薬品関連区分	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
	きざみ値				
30	きざみ値計算識別	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
31	下限値	数字	8	可変	未使用：「0」を設定する。
32	上限値	数字	8	可変	未使用：「99999999」を設定する。
33	きざみ値	数字	8	可変	未使用：「0」を設定する。
34	きざみ点数	数字	10	可変	未使用：「0.00」を設定する。
35	上下限エラー処理	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
	上限回数				
36	上限回数	数字	3	可変	未使用：「0」を設定する。
37	上限回数エラー処理	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
	注加算				
38	注加算コード	数字	4	可変	未使用：「0」を設定する。
39	注加算通番	英数	1	固定	未使用：「0」を設定する。
40	通則年齢	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。

項番	項目名	形式			内 容
		モード	最大 バイト	項目 形式	
	上下限年齢				
4 1	下限年齢	英数	2	固定	未使用：「00」を設定する。
4 2	上限年齢	英数	2	固定	未使用：「00」を設定する。
4 3	時間加算区分	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
	基準適合識別				
4 4	適合区分	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
4 5	対象施設基準	数字	4	可変	未使用：「0」を設定する。
4 6	処置乳幼児加算区分	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
4 7	極低出生体重児加算区分	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
4 8	入院基本料等減算対象識別	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
4 9	ドナー分集計区分	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
5 0	検査等実施判断区分	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
5 1	検査等実施判断グループ区分	数字	2	可変	未使用：「0」を設定する。
5 2	逡減対象区分	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
5 3	脊髄誘発電位測定等加算区分	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
5 4	頸部郭清術併施加算区分	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
5 5	自動縫合器加算区分	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
5 6	外来管理加算区分	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
	旧点数				
5 7	点数識別	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
5 8	旧点数	数字	10	可変	未使用：「0.00」を設定する。
5 9	漢字名称変更区分	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
6 0	カナ名称変更区分	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
6 1	検体検査コメント	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
6 2	通則加算所定点数対象区分	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
6 3	包括逡減区分	数字	3	可変	未使用：「0」を設定する。
6 4	超音波内視鏡検査加算区分	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
6 5	予備	数字	2	可変	未使用：「0」を設定する。
6 6	点数欄集計先識別（入院）	数字	3	可変	未使用：「0」を設定する。
6 7	自動吻合器加算区分	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
6 8	告示等識別区分（1）	数字	1	固定	「1」を設定し、基本項目（告示）とする。
6 9	告示等識別区分（2）	数字	1	固定	「1」を設定し、基本項目とする。
7 0	地域加算	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
7 1	病床数区分	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
7 2	施設基準①～⑩		40		未使用：「0」を設定する。
8 1	施設基準コード	数字	(4)	可変	未使用：「0」を設定する。
8 2	超音波凝固切開装置等加算区分	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
8 3	短期滞在手術	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
8 4	歯科適用区分	数字	1	固定	「1」を設定し、歯科診療において記録可能とする。
8 5	コード表用番号（アルファベット部）	英数	1	可変	「*」を設定する。

項番	項目名	形式			内 容
		モード	最大 バイト	項目 形式	
86	告示・通知関連番号 (アルファベット部)	英数	1	可変	未使用：省略
87	変更年月日	数字	8	固定	適用となる日付を西暦年「4桁」、月「2桁」及び日「2桁」の8桁で表す。
88	廃止年月日	数字	8	固定	「99999999」を設定する。
89	公表順序番号	数字	9	可変	頭1桁目から4桁目は、次の基準により病棟を識別し、5桁目から9桁目は、機能別の通し番号を設定する。 9991*****：高度急性期機能病棟 9992*****：急性期機能病棟 9993*****：回復期機能病棟 9994*****：慢性期機能病棟
コード表用番号（アルファベット部を除く）					
90	章	数字	1	固定	「9」を設定する。
91	部	数字	2	固定	「02」を設定する。
92	区分番号	数字	3	固定	「001」を設定する。
93	枝番	数字	2	固定	次の区分を設定する。 01：高度急性期機能病棟 02：急性期機能病棟 03：回復期機能病棟 04：慢性期機能病棟
94	項番	数字	2	固定	項番93「枝番」の同一コード内において、通し番号を2桁で設定する。
告示・通知関連番号（アルファベット部を除く）					
95	章	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
96	部	数字	2	固定	未使用：「00」を設定する。
97	区分番号	数字	3	固定	未使用：「000」を設定する。
98	枝番	数字	2	固定	未使用：「00」を設定する。
99	項番	数字	2	固定	未使用：「00」を設定する。
100	年齢加算①～④		52		未使用
～ 111	下限年齢	英数	(2)	固定	未使用：「00」を設定する。
	上限年齢	英数	(2)	固定	未使用：「00」を設定する。
	注加算診療行為コード	数字	(9)	可変	未使用：「0」を設定する。
112	異動関連	数字	9	可変	未使用：「0」を設定する。
113	基本漢字名称	漢字	128	可変	項番5「省略漢字名称」と同一名称を設定する。
114	副鼻腔手術用内視鏡加算	英数	1	固定	未使用：「0」を設定する。
115	副鼻腔手術用骨軟部組織切除機器加算	英数	1	固定	未使用：「0」を設定する。
116	長時間麻酔管理加算	英数	1	固定	未使用：「0」を設定する。
117	点数表区分番号	英数	30	可変	未使用：省略
118	モニタリング加算	英数	1	固定	未使用：「0」を設定する。
119	凍結保存同種組織加算	英数	1	固定	未使用：「0」を設定する。
120	悪性腫瘍病理組織標本加算	英数	1	固定	未使用：「0」を設定する。

項番	項目名	形式			内 容
		モード	最大 バイト	項目 形式	
121	創外固定器加算	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
122	超音波切削機器加算	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
123	左心耳閉鎖術併施区分	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。
124	予備	数字	1	可変	未使用：省略
125	予備	数字	1	可変	未使用：省略
126	予備	数字	1	可変	未使用：省略
127	予備	数字	1	可変	未使用：省略
128	予備	数字	1	可変	未使用：省略
129	予備	数字	1	可変	未使用：省略
130	予備	数字	1	可変	未使用：省略
131	予備	数字	1	可変	未使用：省略
132	予備	数字	1	可変	未使用：省略
133	予備	数字	1	可変	未使用：省略
134	予備	数字	1	可変	未使用：省略
135	予備	数字	1	可変	未使用：省略
136	予備	数字	1	可変	未使用：省略
137	予備	数字	1	可変	未使用：省略
138	予備	数字	1	可変	未使用：省略
139	予備	数字	1	可変	未使用：省略
140	予備	数字	1	可変	未使用：省略
141	予備	数字	1	可変	未使用：省略
142	予備	数字	1	可変	未使用：省略
143	予備	数字	1	可変	未使用：省略
144	予備	数字	1	可変	未使用：省略
145	予備	数字	1	可変	未使用：省略
146	予備	数字	1	可変	未使用：省略
147	予備	数字	1	可変	未使用：省略
148	予備	数字	1	可変	未使用：省略
149	予備	数字	1	可変	未使用：省略
150	予備	数字	1	可変	未使用：省略

※この資料は、病床機能報告用マスターファイル仕様説明書からポイントとなる項目のみを抜粋して作成しています。

病床機能報告用マスターファイルの仕様イメージ

病床機能報告用マスター(医科・DPC、歯科)

Table with columns for Master Code, Diagnosis Code, Name, Dates, Points, Limits, Facility Standards, and Basic Name. Rows include categories like '高度急性期機能病棟' and '急性期機能病棟'.